

PTA広報誌

# 鹿兒島中央

発行  
鹿兒島中央高等学校PTA  
TEL226-1574

発行責任者  
PTA会長 永田晋一

印刷  
株式会社 印刷

毎日できること



PTA会長 永田 晋一  
五月に入り国内では、リオ五輪の出場権をかけた大会の結果が毎日のように報道され、身近なところでは、高校総体の各競技の結果を新聞等で目にする機会が多くなりました。

高校生活は3年間ですが、特に体育系部活動は、実質二年間と僅かで、本当にあつという間に、過ぎてしまうような気がします。

また、高校三年間をいかに過ごすか、いかに過ごしたかは、卒業してからの大学生活・社会人になってからも、いろいろと繋がっていくと思います。

文武両道、学業と部活動の両立を掲げ毎日学校に通う生徒を見るとたくましく思えるばかりです。結果重視でなく、目標を設定し「できるか・できないか」ではなく、「やるか・やらないか」が一番大事だと感じています。自分の高校時代と比べても、いろいろな取り巻く環境が違いすぎて時代錯誤を覚えることも多々あります。親としては、子供のやりたいことを、どのように引き出してあげるのか、サポートできるのが大切だと最近特に感じるようになりました。

日々成長する子供たち、特に高校3年生、五二期のみんなには、あと半年余り自分の目標に邁進して欲しいと思います。

ところで、六月中旬、四二五七安打の歴代最多安打記録を達成したメジャーリーグのイチロー選手は、四二歳になった今でも日々の準備は、同じ時間・同じリズムで行うそうです。「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行く、ただ一つの道」。偉業を達成した選手だからこそ重みがある言葉ですが、自分たちでも実行することは不可能ではないと思わせてくれます。

だからこそ、日々目標を持って大切に過ごし、頑張っていくましよう。

「中央生は中央生たれ」  
「矜恃を持って」



校長 江口 公三  
鹿兒島中央高校と言え、県内でも屈指の有名校・進学校であり、伝統ある高校

である。ここで学び、ここでキャンパスライフを過ごすことができるのは中央高校生だけである。当たり前と言え、当たり前。中央高校に入学したのだから。ではみんなは「中央高校生らしいかな？」と言う質問を投げかけてみよう。毎日教室の正面に掲げられている「三綱領・五条目」の文句をもう一度思い出そう。「志操は高く」「学道に専心」「共励切磋」「自主自律」「積極敢為」とある。どうだろう。今、みんなはこの加治屋町で学んでいる。加治屋町は明治維新の発祥の地と言っている。あれから百五十年を迎える。この地の偉人たちはご存じの通り、西郷隆盛、大久保利通、東郷平八郎、大山巖など挙げれば数え切れないほどの人物がいる。また、この校舎は、旧制第一高等女学校の校舎であり、その前には、昭和天皇が七日間滞在された大本営の置かれた校舎である。生徒諸君はその地を、学んでいる。「中央生は中央生たれ」とは、ここで学べる喜びを感じ、日本の将来を担う人間として成長してほしいという思いからである。これからの社会は、ロボットを含め人工知能が活躍するであろう時代を迎える。人間が、人間としてその能力を発揮できるかが問われる時代が到来する。今まで経験したことのない時代に突入する。そのため「鍛え上げられた能力」が必要となってくる。自ら考え、自ら行動して前に進むことである。「学校は学ぶた

めの道場である。」とみんなに伝えた。魂を磨き、能力を鍛え、その力を発揮できる準備を今、しなければならぬ。諸君にはそれができるはずだ。それは鹿兒島中央高校生だからだ。

かたや一方で、私たち教職員の体制作りも欠かせない。高大接続が新しい時代を迎える。大学入試センター試験が廃止され、新しいテストが進められようとしている。先ほど述べたように、これからの日本を担う若い世代を如何に世界で活躍できる人間に育てていくのか。日本の教育の急務だ。従来の指導ではなく、能力を鍛えるための改善された、アクティブな指導力が必要になってくる。人工知能の発達とロボットの進化によって、職を失いかねない時代に入ること予想される。ただ教え込むだけでは教師の資質が問われる時代が近づいている。このような時代背景の中で、将来を託される本校生徒の育成を任せられた私たちは、なお一層の努力と指導法の改善等が大事になる。そのことを自覚した行動に移す準備を進めているところだ。目先のことでなく、将来を見据えた教育の必要を感じるこの頃である。

保護者の皆様方へ。これからの日本は大きな転換期を迎えることとなります。子供を育てていく者同士、将来のことをしっかりと見定めながら、子供たちがどうすれば活躍できるのか、家庭でも是非話題にしてみてください。この場をお借りし、今後とも学校へのご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

## 三綱領

# 自主 好学 敬愛

### 校是の由来

三綱領は、柳直一初代校長が定めたものである。三綱領の「自主」「好学」「敬愛」は、明治維新期の三人の偉人が重んじた精神、すなわち福沢諭吉の「自主独立」、吉田松陰の「好学愛知」、西郷隆盛の「敬愛人」からとったものである。

### 父の腕時計



教頭 立石 賢二  
私が身に付けている腕時計は昭和53年に父が勤務していた会社から勤務35年記念として貰った品

だ。高級品ではないが当時はまだ珍しいクォーツ時計。形見として譲り受け15年経つが今も正確に時を刻む。昭和末期の日本製は驚くべき性能と耐久性を示す物が多い。父は遠洋底曳き漁業の船員だった。ひとたび漁に出ると、東シナ海の大正エビ漁で45日、北洋の母船式助惣漁で半年は帰宅しなかった。私が小学生の頃、東シナ海で国交回復前の中国に拿捕され(この時、僚船の乗組員一人が銃撃され死亡している)3週間、上海に抑留された。私が中学2年の頃はアフリカの現地子会社に向向、乗組員15人中、日本人は船長と機関長の二人、他は全て現地人という船に乗り組み2年間帰って来なかった。部下の乗組員(ナイジエリア人)とは仏語で意思疎通したと豪語していたが、父は大正13年生まれ「高等小学校」卒。殆どポディランゲージで現地乗組員を指揮していたらしい。

船を住処とし滅多に帰宅せぬ父だった。自宅にいる時はゴロゴロしているかパチンコに行くかのどちらかで、当時私が思い描いた尊敬すべき父親像とは大きくかけ離れていた。私は歴をたつぷりかじった割には父を疎ましく思う気持ちが強く、感謝の気持ちは殆ど無く、ましてや父に感謝の気持ちを伝えたことなど皆無だった。

父は老境に入るとアルツハイマー病が進行し、亡くなる前の数年間は施設に入っていた。たまに自宅に帰ってきて「船に戻らねば」と言って施設に戻っていった。父が亡くなり何年も経ってから、昭和を生き抜いた父の妻さによりやく気付いた私。そして自分自身が我が子から疎まれても、無理もないかなあ・・・と思える今日この頃。歴史は繰り返しているのか。引き続き正確に時を刻んでいる腕時計を眺め、ふとそんなことを思う。

# 携帯電話・スマートフォンの利用について



急速な携帯電話・インターネットの普及に伴い、ネットに関するトラブルやネット依存に関する問題が増加しています。本校でも「校内持ち込み許可制」をとっていますが、本校の生徒の利用状況はどうでしょうか？生徒指導部に聞いてみました。

本校生のインターネット利用等実態調査についての報告  
※昨年度9月に実施した調査内容です。(今年度も9月実施予定)

### ①自分専用の携帯電話・スマートフォンを所有している。

1年	2年	3年	合計
302人	300人	284人	886人
95.6%	97.4%	93.1%	95.4%

### ②そのうち、フィルタリング設定者

1年	2年	3年	合計
199人	210人	193人	602人
65.9%	70.0%	68.0%	67.9%

### ③平日一日の利用時間

利用時間	1年	2年	3年	合計
使っていない	3	4	15	22
30分未満	37	28	86	151
30分～1時間	88	92	117	297
1時間～2時間	126	113	58	297
2時間～3時間	43	50	16	109
3時間～4時間	12	13	9	34
4時間～5時間	2	3	2	7
5時間以上	5	4	1	10
平均(分)	89	90	60	80

### ④インターネットで最も長い時間利用していること。

内容	1年	2年	3年	合計
学習活動	20	22	34	76
音楽、画像、動画の閲覧	64	78	104	246
メール	10	4	11	25
LINE等のアプリ	165	129	103	397
SNS(ツイッター等)	13	34	23	70
ゲーム	41	35	15	91

(総括)上記のデータは昨年度調査結果であるが、過年度データと比較して大きく変わったという点は見受けられない。今年度も所持率は90%を超え、全体の80%強が持ち込み許可を申請している。平日一日の利用時間等を見ると、多くの生徒が30分から2時間程度使用している。このことが自宅学習の妨げとなっている。また、多くの生徒が、サイト利用やメール等のやり取り等で、勉強に集中できない、睡眠不足である、寝る時もスマートフォンを手放せないなどの弊害を感じている。

ある脳科学者の研究によると、スマートフォンなどのディスプレイのLEDバックライトに2時間さらされると、メラトニン(睡眠を誘うホルモン)が23%も減少したという報告がある。良質な睡眠が学習と記憶を強化することは実験によって証明されており、知識を定着させるためにどれほど睡眠が大切なのかということに改めて子供たちに理解させる必要がある。まずは、就寝まで規則正しく過ごすことに取り組ませることが重要である。ご家庭でも一度話題にいただければありがたい。

### 平成28年度県高校総体結果

今年も男女テニス部のベスト4を筆頭に、多くの部活動が健闘しました。



テニス部(男子団体)3位、個人シングルス:田原健太郎ベスト16 個人ダブルス:田原・堀之内組、川畑・船間組ベスト16、(女子団体)3位、個人シングルス:大渡重5位 矢崎真衣、東みく、元山果南ベスト16 個人ダブルス:大渡・元山組2位 東・飯屋組、矢崎・重田組ベスト8。ハンドボール部(男子)ベスト8。(女子)ベスト8、卓球部(男子)ベスト8、バドミントン部(男子団体)ベスト16、(女子団体)ベスト16、女子バレーボール部ベスト16、剣道部(男子個人)増田昇陽ベスト16、陸上競技部(個人)永田拓海100m3位、200m5位、西田慎也800m4位、平尚浩400mH8位、4×100mR(山口・種子田・永田・平)7位、4×400mR(山口・西田・永田・平)3位、水泳部(個人)西村真知200m自由形8位、永吉雪之介100m自由形8位、50m自由形5位、重信佑樹男子100m背泳ぎ7位、男子800mリレー4位(三浦・重信・植木・西村)、山崎菜汰:男子50m平泳ぎ2位、ダンス部 特別賞 社行会は、今年度は15人(陸上・テニ

ス・水泳・写真)でした。生徒の健闘を期待します。

#### 【陸上競技部】

第69回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 南九州地区予選大会  
6月16日(木)～6月19日(日)  
宮崎県(KIRISHIMAハイビスカス陸上競技場)

永田拓海 100m, 200m, 4×400mR,  
西田慎也 800m, 4×400mR, 平4×400mR, 山口翔 4×400mR, 種子田笙太 4×400mR, 森山航平 4×400mR

#### 【テニス部】

第51回 全九州高等学校テニス競技大会  
6月18日(土)～6月20日(月)  
福岡県北九州市三萩野庭球場

個人ダブルス:大渡・元山組

#### 【水泳部】

第64回 全九州高等学校水泳競技大会  
7月16日(土)～7月18日(月)  
大分県 別府市営青山プール

西村真知:200m自由形, 800mリレー  
永吉雪之介:100m自由形, 50m自由形  
植木義将:800mリレー  
三浦隼人:男子800mリレー  
重信佑樹:男子100m背泳ぎ, 800mリレー  
木塚早紀:女子200m自由形, 100m自由形

一年生の保護者向けに、進路指導部に聞いてみました。  
今の大学入試の動向を教えてください。  
全体的には、受験競争の緩和が進んでいるが、難関大は相変わらず人気が高い。キーワードは「地元志向」「安全志向」「文高理低」。そのため、後期の欠席率が上昇している。センター試験の自己採点で悪い判定が出ても、最後まで粘って受験すれば合格ラインに届く可能性が十分ある。鹿児島大学の法文学部と教育学部で学科が再編されるので動向に注意が必要。

業成績もよい。嫌いな勉強ができない理由を、好きな部活動のせいにするのは自分の慰めにもならない。  
推薦入試は具体的にどんな勉強をしたらよいですか。  
まず「推薦入試」は「合格しやすい」ではないということ。推薦入試は、大学が要求している「アドミッシヨン・ポリシー」に合致した者でないとならず合格しない。自分が該当するとしたら、その大学で何を学んで具体的にどんな成果を求めていくか、しっかりと自分の言葉で表現できるようにしなければならぬ。普段の勉強に上乘せして推薦入試の勉強をしないと合格は難しい。  
時事問題を考える時間をどう確保したらいいですか。  
改めて時間を確保して考えることではないと考えられる。日頃から新聞に目を通し(そのために早く起きる)たり、インターネットで様々な分野のニュースを読み、関連事項をクリックすることが大切。本校では、朝に「一読三嘆」の時間がある。いろいろなジャンルの記事や文章にふれ、自分なりの考えをまとめるよいチャンス。広く世の中全体を見渡すアンテナが必要だ。



# 主な学校行事

(教務部)

鹿児島中央高校の学校行事について、教務部に聞いてみました。

## 1. 教育課程について

進学指導を中心とする普通科高校にふさわしい教育課程を編成し、各学年ともLHR、総合的な学習の時間を含めて、週当たり34時間の授業が組まれています。1年生は芸術が選択になっているほかは、全員共通の教科・科目を履修します。2年生・3年生は適性、学力に応じた効率的な学習指導がなされるように、生徒の進路希望に応じて文系、理系の2コースに分かれ、それぞれに適した授業形態で、学力の充実を図っています。

中学校との違いとしては、朝の課外から、3年生になると放課後課外も生まれ、学習時間が非常に多くなります。これらは大学入試に十分対応できるよう計画されています。また、模擬試験なども多く実施し、全国的な試験に対応できるよう力を付けています。

## 2. 主な学校行事

### ① 団体訓練

創立以来続いている行事です。鹿児島中央高校の記念誌を読むと、50数年前の創立の日の数日後には、既に団訓が行われていたそうです。現在も年間12回、ベルと同時に着替え、数分後にはグラウンドに整列する姿は、鹿児島中央高校同窓生にとっては、懐かしいものであり、中央生の魂を育てるものとなっています。



### ② ミニミニ中庭コンサート

音楽部の企画で、年間5回程度中庭で昼休みを利用した、ミニコンサートが行われています。中庭を持つ本校の特徴を生かした、全校生徒がお昼休みのひと時を爽やかな音楽で楽しめる情緒豊かな行事です。クリスマスに



は中庭の少女の像もサンタクロースの服を着て、素敵な雰囲気を出しています。

### ③ 南薩路遠行 (10月)

以前は桜島一周遠行という形での実施でしたが、数年前から降灰の影響を鑑みて、南薩路へのコース変更を行いました。ルートは、かせだドームから伊集院の徳重神社まで、31kmのコースを思い思いに走ったり歩いたり、体と心を鍛える行事です。学年順に出発し、吹上浜を眺めつつ「かめまる館」のチェックポイントを通過。ゴールを目指します。友人と仲良く話しながら歩いたり、自分への挑戦として黙々と走ったりと様々ですが、参加者のほとんどが、男子6時間半、女子7時間半の制限時間内にゴールします。全校生徒、職員で、爽やかな秋の一日を楽しんでいます。



### ④ 国内体験学習 (12月)

2学年が関東方面へ3泊4日で行かれています。ディズニーリゾートや、スカイツリー見学、東京大学等の大学訪問など計画されています。他にも、先輩を訪ねてと題して本校卒業生の働く企業を訪問し、最新の情報や社会人としての心構えなどをご教授いただいています。



## ホームページ

本校の最新情報は、ホームページをご覧ください。ホームページは、ブログ形式で作られており、その日行われた行事など、タイムリーに発信しています。県内でも更新頻度としては、ナンバーワンと自負しており、この形態が、もう10年近く続いていることとなります。

他にも、学校基本情報や進路情報、各種たよりなどもPDFファイルとして読めるようになっていますし、右のQRコードを利用して、スマートフォン等でも簡単にアクセスできるようになっています。仕事で一旦入れたいようなときに、学校の様子をチェックされてはいかがでしょうか？



# 先輩からのアドバイス

教育実習生に大学生活について質問しました。質問内容は、

- ① 研究内容と所属する学部学科について
- ② 大学での学生生活について
- ③ 自分自身の進みたい進路や所属する学部学科の進路状況
- ④ 後輩へのメッセージ

の4点です。多くの教育実習生に協力していただきましたが、今回は二人の先輩の回答を掲載します。教育実習生の皆さん、ありがとうございました。

## 鳥丸 達郎 (47期生 九州大学理学部物理学科)

① 研究というほどでもないですが、僕が所属している研究室で今行っているゼミの内容は難しく言うと「量子多体系のシュレディンガー方程式をプログラミングで解く」ことをしています。簡単に言うと、2個以上の陽子または中性子が合体したものは物理的にどんな様子なのだろう？どんなエネルギーを持っているのだろう？ということコンピュータの計算の力を借りて解明していくことです。

物理の魅力といえば、ある計算を施して得られた式の意味を考えたとき、日常の経験から培った直感(例えば電車の発車時に進行方向とは反対方向に引っ張られる感覚)と一致した時の感動を得られることです。

② 入学当初からトライアスロン部に所属しています。部活は自由参加型、大会も自由参加。最も過酷なスポーツということで名高いですが、フィニッシュ時に得られる感動は計り知れません。アルバイトは塾講師を1年、飲食業を2年(飲食業は今も継続中)経験しました。学業、部活、そしてアルバイトを習慣化することで生活にけじめをつけ、勉強や部活ができる時間がいかに貴重であるかと自己暗示かけるのが目的でした。とにかく毎日が忙しく楽しいです。

③ とりえず博士号をとることを目標としています。だから、今は目の前に迫った大学院入試試験の対策に奮闘中です。大学院は九州大学に残るか、東京の大学に進学するか迷っています。博士号をとった後は研究職か高校教師か悩んでいます。どっちにもなりたいです。

④ 高校生の時、勉強が嫌になり現実逃避したい気分になりました。その時はいつも、「なんでこんなこと勉強しなければいけないのか？社会の役に立つはずじゃないじゃん。大人が微分、積分しているところ見たことないよ。」とばかり考えていました。皆さんもそんな経験がありませんか？確かに、高校で学習することは社会にあまり反映していないのかもしれませんが、しかし、大学で学習、研究することは大いに役に立っています(例えば大学で学習することをこの世の誰も知らなければ天気予報はできません！)。その大学で学習する内容を理解するには高校で学習したことを理解していなければなりません。当然のことを言いましたが、高校で得た知識、財産は確かに将来役に立ちます。世にいう頭のいい人たちはなぜ頭がいいのか？それはたくさん使ったたくさんの知識を頭に詰め込んだからです。決して先天的なものではありません。彼らもしっかり努力してきたのです。僕は、高校生活で満足できるほど努力しなかったのが今非常に後悔し、高校1年生からやり直したいほどです。皆さんは、無理をしない程度に今までにしたことのない努力をしてみてください。見たことのない世界が見えてくるかもしれません。

## 下吹越 茉莉子

(47期生) 鹿児島大学法文学部人文学科 ヨーロッパ・アメリカ文化コース

① 私はヨーロッパ・アメリカ文化コースに所属しています。研究内容は英語コミュニケーションです。大学では、高校までに習った英語を実際に使う機会が多いです。高校卒業まで、私は机の上でしか英語をしたことがありませんでしたが、大学の授業では英語で自分の好きなことをテーマにしたレポートやプレゼンテーションをします。

人文学科は1年次に、コースや専門、ゼミに属さず、自由に自分の好きな講義を選んで学びます。(英語・第二外国語・体育・情報は必須です。)そして、2年生になると好きなコースに所属します。今のあるのは心理学コース、メディアコース、比較地域コース、日本とアジアコース、ヨーロッパ・アメリカ文化コースの5つです。1年間かけて、どのコースに所属するのか決められるのは良い点だと思います。

② サークルではないのですが、大学2年生の後期から韓国語のゼミに入っています。かっちりした授業ではなくて、大学に留学に来ている韓国人留学生と韓国に留学経験のある教授が丁寧に教えてくれます。

アルバイトは接客業をしています。貯めたお金で旅行に行くのが大好きです。韓国に2回、台湾に1回行きました。今は、オーストラリア旅行のために貯金中です。

③ 教育実習生として母校に来ましたので、先生という職業は本当に憧れですし、楽しく授業できる先生になりたいです。また、昨年9か月間オーストラリアに留学して本当に楽しかったので、もう1度、長期間外国に住みたいです。なぜかアフリカにも住みたいです。20代のうちに実現できたらな、と思います。

④ 実習中に高校時代のことをたくさん思い出しました。私は3年生に配属されたからか、特に受験のときのことを思い出しました。1・2年生のときも勉強と宿題に追われていたのですが、3年のときはなぜか泣きたくなったり、なにをしているのだろうなと思ったりしたこともありましたが、去年留学して、毎日毎日、高校の時に覚えていた単語を思い出さず、英語を勉強してよかったな、と実感しました。高校時代の土台があったから、留学で、もっと英語ができるようになったのだと思います。先生方もおっしゃっていると思いますが、今やっていることが将来役に立ち、あのとき〇〇していたよかったと思うことがあると思います。高校生活は3年です。勉強は大変ですが必ず受験勉強は終わります。

あとは睡眠が大事です。テレビ・スマホの時間を1時間減らしてでも寝てください。そして、プロの先生方が教えてくださる授業を大切にしてください。実習生一同、皆さんの活躍をお祈りしています！2週間ありがとうございました。



第54回入学式

4月7日(木) 本校体育館にて、第54回入学式を実施しました。

新入生321名は、新しい制服に身を包み、少し緊張しながら体育館へ入場。多くの保護者の皆様に見守られる中、一人ひとりの名前が呼ばれ、校長が入学許可を宣言しました。その後、新入生代表が、「三綱領・五条目を守り、充実した高校生活を送ることを誓います」と宣誓しました。これからの三年間、この入学の喜びを忘れずに充実した学校生活になることを願います。



平成28年度PTA総会開催

〔5月12日(木)〕

5月12日(木)多くの保護者の方々に出席していただき、平成28年度PTA総会が開催されました。平成27年度会務報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算等についての協議後、新PTA会長、副会長等が選出され、新旧役員あいさつ、学校からの近況報告などが行われました。

また総会后、NPO法人ネットポリス鹿児島の戸高成人氏による携帯・スマートフォン等に関する講演会を行いました。インターネット上の情報発信に関する最新の情報をもとに、刺激的な事例を交えながら保護者の方々にも注意をうながすお話をさせていただきました。



おじゃまします!

今回は今年度のクラス担任を紹介します。一年間よろしくお願いします。



1-1

山口 悟先生  
数 学



1-2

大倉野賢一先生  
英 語



1-3

川元 義久先生  
数 学



1-4

大浦 竜二先生  
理 科



1-5

中堀 浩貴先生  
世 界 史



1-6

松崎 久和先生  
数 学



1-7

日高 大佑先生  
理 科



1-8

永盛 光国先生  
地 理



2-1

千頭 一郎先生  
理 科



2-2

鳥居 次郎先生  
数 学



2-3

西 孝典先生  
理 科



2-4

脇田 弘隆先生  
数 学



2-5

板木 正一先生  
国 語



2-6

野村 礼先生  
国 語



2-7

上ノ園雅央先生  
世 界 史



2-8

柳田 亜矢先生  
英 語



3-1

加藤 寛樹先生  
理 科



3-2

川崎 健朗先生  
数 学



3-3

上畠栄美子先生  
英 語



3-4

磯部 広志先生  
理 科



3-5

久保めぐみ先生  
英 語



3-6

當房 哲也先生  
日 本 史



3-7

上赤 洋平先生  
国 語



3-8

北原 義大先生  
理 科

平成28年度

新役員紹介

PTA会長 永田 晋一  
PTA副会長 中山 貴大

母の部会部長 木之下紀子  
母の部会副部長 川上 長子  
母の部会書記 満田 典子

学年委員会  
一年部 木場 美佳  
二年部 生野 恭子  
三年部 三島真理子

一年間よろしくお願いします。

編集後記

今年度も、年二回の発行となります。読みやすく、親しみやすい紙面づくりを心がけました。ご多用の中、寄稿して下さいました方々、編集に携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。

